

自治労 労働相談

Tel 0120-768-068

(受付時間: 10:00~17:00)
(月曜日~金曜日 祝祭日を除く)e-mail
soudan@j-kanagawa.jp
専門スタッフが対応します

自治労 JICHIRO KANAGAWA 神奈川

発行/自治労神奈川県本部
住所/横浜市内南区高根町1-3
地域労働文化会館3階
045-251-9711発行人/夢沼 宏幸
編集人/中野 雅臣
1部/20円
(組合員の購読料は組合費の中に含む)全国の仲間の『声』が『力』に
第27回参議院議員選挙自治労組織内(全国比例)
岸 まきこを推せん決定

大会で決意表明

今大会において、力強い推せん決定を頂きありがとうございます。6年前の新潟大会で立候補表明をさせていただき、議員になって4年。新型コロナウイルス感染症の対応や会計年度任用職員の処遇改善に向け、現場の声を政府に対し伝えてきました。いまなお、現

場の最前線で働いている仲間の組合員の声が、私自身を強くしこれまで走り続けてくることができました。

まだまだやりたいことがあり、組合員の声を届けなくてはという思いが強くなっています。全国70万人の組合員だけでなく家族・関係者のみなさまを含め、みんなの声を引き続き国政に届けるために、引き続き全力で走り続けていきます。

一人でも多くの仲間に、私の思いを伝えていただくとともに、自治労の制度・政策の実現のための取り組みを広げていただくことをお願いし、私からの決意の一端とさせていただきます。



大会では、今後2年間の自治労の取り組み方針のほか、自治労の課題としてジェンダー平等推進計画や組織強化・拡大に向けた方針など、全部で8つの議案について質疑討論した。

今後2年間の運動方針のメインスローガン「声を力に、一歩前へ」に加え、サブスローガンを「助け合い、支え合い、日常的な組合活動を通じて、魅力ある職場をつくる」とした。

武部副委員長が、賃金・労働条件改善に向けた取り組みや参議院選挙闘争の推進などについて発言。「人助では再任用も含め全職員の賃上げに資する勧告が行われたが、物価上昇など考慮すると、満足できる内容には至らなかった。あらためて、

自治労大会

運動前進に向け活発討論
新たに石上委員長(北海道)を選出

自治労は、8月28日から30日まで、函館市で第97回定期大会を開き、2年間の運動方針などを決定した。組織強化・拡大などについて活発な討論を行うとともに、2025年の参議院選挙の候補者として、『岸 まきこ』さんを決定した。

ろう」「組合員の声を求め、要求・交渉を通じて働きやすい職場環境をつくり、地域に根差した質の高い公共サービスを実現しよう」「生活の基盤である平和・人権を守り、多様性を認めあえる地域・社会をめざそう」とした。

質疑では、神奈川から武部副委員長が、賃金・労働条件改善に向けた取り組みや参議院選挙闘争の推進などについて発言。「人助では再任用も含め全職員の賃上げに資する勧告が行われたが、物価上昇など考慮すると、満足できる内容には至らなかった。あらためて、



発言する武部副委員長

の浸透をはかっていく」と発言した。8つの議案はすべて賛成多数で可決するとともに、北海道本部・自治労富良野市労連出身の石上千博委員長を先頭とする新たな執行部体制が承認された。

最後に、自治労は平和と信頼の社会、質の高い公共サービスをめざし、共生と連帯に基づく持続可能な社会の実現に向け、運動をさらに前に進めるとした大会宣言を採択し終了した。



津野さんは「発生要因とそのメカニズムを解析する」として、「組織においてパワハラを引き起こすのは、要求・プレッシャーが高いなど構造的な課題もあるが、一方で暇な職場でも発生することが報告されている。仕事に対する役割の葛藤やあいまいさがある職場で起こりやすい。日本社会は、タフな人が評価され、男らしさが求められる組織文化があり、構造的な根源となっている」と組織における課題を報告した。

ハラスメントは職場を暗い雰囲気にするだけでなく、生産性や人間関係にまで影響する。一人ひとりが大切にされる職場がハラスメントのない職場づくりにつながる。

某デパートの労働組合が売却をめぐって、雇

県内の労働組合と労働弁護団などで構成する労働弁護グループがなわがわは、9月2日、横浜でシンポジウムを開いた。

津野さんは「発生要因とそのメカニズムを解析する」として、「組織においてパワハラを引き起こすのは、要求・プレッシャーが高いなど構造的な課題もあるが、一方で暇な職場でも発生することが報告されている。仕事に対する役割の葛藤やあいまいさがある職場で起こりやすい。日本社会は、タフな人が評価され、男らしさが求められる組織文化があり、構造的な根源となっている」と組織における課題を報告した。

ハラスメントは職場を暗い雰囲気にするだけでなく、生産性や人間関係にまで影響する。一人ひとりが大切にされる職場がハラスメントのない職場づくりにつながる。

某デパートの労働組合が売却をめぐって、雇

パワハラは科学で解決
労働弁護グループがシンポ

法改正により事業主に義務付けられたパワハラ防止措置について「仕事量を見直すとともに仕事内容を具体化し、役割を明確にすることが重要。また、組織構造やその風土が大きく影響するため、冗談やからかいを容認することもパワハラの根源となる」とし、「啓発や相談窓口の設置の前に、まずは事実確認や行為者の処分をやるべきであり、順序を間違える対策は功を奏さない。断固としてハラスメントを許さないという強い姿勢を示すことが重要。さらに、ミスしても非難されない心理的安全性を構築することも大事である」と解説した。

某デパートの労働組合が売却をめぐって、雇

2023自治労水週間
県本部塗り絵コンクール

結果

第39回自治労水週間の今年のテーマは、『あなたと未来にめぐる水』
その一環として塗り絵コンクールを実施し、今年から新たに県本部賞を用意いたしました。
多くの組合員・家族のみなさまから応募(117点)をいただき、下記のとおり受賞者が決まりました。

大人の部 応募64点	優秀賞	入賞	佳作	佳作	
「未来につながる水」	春成 三葵子 さん (川崎下水労組)	「光」	千川 沙織 さん (公企労)	「育まれた美しい川と海」	栗田 美幸 さん (公企労)
				「優しい水循環」	柴田 宗則 さん (川崎下水労組)

こどもの部 応募53点	優秀賞	入賞	佳作	佳作	
「水がめぐる世界」	千川 湊奈 さん (公企労)	「水は笑顔のもと」	矢部 彩芽 さん (公企労)	「みずのせかい」	須藤 双葉 さん (川崎下水労組)
				「無題」	門脇 知也 さん (川崎下水労組)

各受賞者には、賞品を贈らせていただきます。
多数ご応募いただき協力ありがとうございました。
なお、各部門の優秀賞の作品は、県本部公式Instagramに掲載しています。

県本部公式Instagram



自治労県職労発

ユース活動を積極的に展開

それぞれの労働組合では、年に1度の定期大会の季節を迎えている。組織の強化や職場に依拠した労働運動の構築など、さまざまな課題について議論されているだろう。

そんななか、自治労県職労の大会では、毎年大会参加者同士で職場実態をはじめさまざまな課題の共有を目的として、分散会討論を実施している。

若手組合員を中心とした、分散会では「なぜ神奈川県庁を志したか」「なぜ組合に加入したか」「組合に求めるものは何か」などを、若手の



労働者に必ずしも寄せがくる。また、社会全体が不安定になると、公的なニーズが増える一方で、私たちに對する批判や不満も増大する。だからこそ、労働組合が必要であり、その存在意義を知っているか知らないかで自分の人生の選択肢は大きく変化する。狭い視野で

の「コスパ」や目の先の損得ではなく、参加・意見反映↓活動の活性化↓働きやすい職場の好循環をめざし、自信を持って活動していこう」と呼びかけた。

自治労県職労は組織競

厚木基地 静かな空を返せ 爆音解消求め大和で集会

厚木基地爆音防止期成同盟(厚木爆同)など関連4団体は、8月26日、大和市やまと公園で、「第五次厚木基地爆音訴訟勝利!安保3文書撤回!防衛予算増に反対する8・26神奈川集会」を開き、労働組合や市民団体など250人が結集して抗議行動を行った。

主催者のひとり、厚木爆同・石郷岡委員長は「私たちは、このような集会を開くことのない静かで安全な日常を求めている。今秋に結審を迎える第五次爆音訴訟に勝利するため、もうひと踏ん張り頑張ろう」として参加者に呼びかけた。

米軍空母艦載機の岩国への移駐が完了してから5年が経つ。しかし、岩国からくる空母艦載機や



合などの課題を抱えながらも、新たな若い仲間が中心となってユース部を立ち上げ、新採用歓迎会や家族参加のバーベキューを開くなど、仲間づくりに向け積極的に活動を行っている。

厚木基地 静かな空を返せ 爆音解消求め大和で集会

海兵隊機、日本の海上自衛隊の哨戒機やヘリコプターが厚木基地を拠点に訓練を繰り返しているため、周辺の爆音被害はまったく軽減されていない。さらに、米軍自ら欠陥機と称したオスプレイが、定期整備のためたびたび飛来している。周辺

住民は、変わるこの新しい航空機の爆音と事故への不安の日々を過ごしている。集会に集まった多くの参加者とともに「静かで安全な空」を取り戻すため、集会終了後は厚木基地周辺をデモ行進し、「静かな空を返せ」「安全な空を返せ」「オスプレイは飛行をやめろ」などと、抗議のシュプレヒコールをあげた。

幸せは、ひとりじゃつくりえない。

じちろう
マイカー共済
自動車総合補償共済

こくみん共済 NEWS
5121A072

特別な条例がない限り 禁錮刑以上で
公務員は自動的に失職

じちろうマイカー共済は
起訴前の弁護士費用を支払う特約を
在職者に標準付帯

団体割引は多くの組合員の利用と安全運転に支えられています。

組合経由の申し込みで 団体割引 掛金32.5%*適用

*掛金体系の変更による職域掛金の廃止に伴い割引率が変更されました。団体割引は、車種や補償内容により割引率が異なる場合があります。また、毎年11月時点の実績により変動することがあります。

自治労共済推進本部は「7才の交通安全プロジェクト」に取り組んでいます。

ご不明な点があれば、まずは組合にご連絡ください。

ごくみん共済 全労済 全国労働者共済生活協同組合連合会

自治労共済 推進本部 神奈川県支部
全日本自治体労働者共済生活協同組合

契約にあたってはパンフレットをご覧ください。

「こくみん共済 coop」は営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地(先)の共済生協の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。

連載 自治研センターリポート

神奈川自治研センター事務局長 野坂 智也

「原発あるある」では

済まされない現実

■あらためて書くのも恐縮だが、原子力発電所では通常運転に伴って多種多様な放射性廃棄物が発生している。半減期約12年の放射性同位体トリウムも液体廃棄物のひとつ。この低レベル放射性廃棄物の処分方法は、濃度測定の上、海洋放出を基本としている。日本全国の原発からは年間約380兆ベクレルが海洋放出されていて、事故前の福島第1原発も年間2・2兆ベクレルを海洋放出していた。いわゆる福島第1原発「処理水」の海洋放出は、この放射性廃棄物の処理基準を下回っているから「安全だ」というわけだ。■毎日平均100ト

汚染水を浄化処理して海洋放出するという「処理水」は、そもそも、内外の原発が海洋放出している低レベル放射性廃棄物とは発生経路や性質が異なるものだ。■廃炉に向けて避けて通れない課題だというのが、今は、廃炉プロセスのどの位置にあるのか。通常、原発の廃炉は約30年かかる。国内には廃炉が完了した商業用原子炉はない。政府と東電は、福島第1原発の廃炉を最長40年かけて終えるとしているが、最終形は不明だ。3基の原子炉では核燃料が圧力容器から溶け落ちて燃料デブリを形成している。1号機は圧力容器を溶け出て、格納容器底部に広範囲に散らばっている可能性が高い。2号機は圧力容器の底に多くある状態。3号機は圧力容器内に少なく、格納容器内に一定程度存在するという。このような燃料デブリを取り出した先例はどこにもない。がれきをはじめとした大量の高レベル放射性廃棄物の処分方法も見通しは立っていない。「いっばい話したければ、先送り」という発車のそりを免れない。■内外の理解と協力を取り付けるのは政府と東電の責任だ。政府の判断を「評価した」とした日経新聞(8月23日社説)でも、「処理水放出は復興と廃炉への一里塚ではない。この機に、政府は全体像を示しつつ、着実に進める意思表明をすべきだ」と説いた。毎日新聞は丁寧な合意形成を怠ってきた政治の無責任を指摘し、「処理水の放出を、被災地の復興にどのような影響を与えるのか。道筋を内外に示す責任がある」(8月23日社説)と説いた。「科学的に安全」とばかり声高にしてい

自治研センターHP URL:https://kanagawa-jichiken.or.jp